

きりり

磐田人

静岡県出身だからでしょうか
私に合っていたんだと思います



日本アニメーション スタジオで撮影

脚本家 池野みのりさん

アニメ「ちびまる子ちゃん」をご存知でしょうか。静岡県が生んだ日本一有名な小学生と言っても過言ではないさくらももこちゃんが主人公の有名なアニメ作品です。

小さい頃から物語を書くことが好きだったんですか？

この「ちびまる子ちゃん」は、さくらももこさん原作の作品ですが、テレビアニメの放送では、複数の脚本家によってストーリーが作られています。その脚本家の一人に磐田市出身の方がいます。今回は、テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」の脚本を手掛ける池野みのりさんをインタビューでご紹介します。

好きでしたね。小学校のテストの時に、早く終わって時間が余ったので、答案用紙の裏に物語を書いたんです。そうしたら、先生が大きな花丸をくれたんです。テストのマルよりうれしかったし、印象に残っていますね。それと漫画も好きで、自

由帳に書いてはクラスみんなに読んでもらっていました。でもストーリーばかりが先行して絵が追い付かなくて。やっぱり物語を書くのが好きだったんですね。

脚本家を目指すきっかけは？

大学で磐田を離れましたが、卒業後に就職で磐田に戻ってきたんです。そこでは文章を書く仕事だったので、小さいころから憧れていた脚本家を意識し始めたのかもしれない。その後、縁があつて上京することに

なり、その時に脚本を学ぶ学校へ行こうと決めました。

脚本家とは具体的にどんな仕事をするんですか？

その名の通り脚本を書く仕事ですね。「ちびまる子ちゃん」で言えば、こんな内容の話にし

たいという提案をアニメ制作のプロデューサーや監督、さらにももこプロダクションの方などにします。そこでOKが出たら、15分に納まるように打ち合わせを重ねながら登場人物やセリフなどを考えていきます。

アイデアはどのようにして考えますか？

脚本家によって異なると思いますが、私は日常生活でフットこれを書こうと思いつくんです。その時に自分の中で湧き上がった気持ちを皆さんにも感じてもらえるようにストーリーを

作っていきます。当然、感じたものをそのままでは伝わりませんから、「ちびまる子ちゃん」のどのキャラクターを使って、どんな内容にして、どんな仕掛けをしてと考えていきます。

どんな場所で仕事をされているんですか？

私は、自宅の茶の間でいますよ。「ちびまる子ちゃん」の脚本には約10年携わっていますが、今こそ子どもも大きくなりまして、子育て、家事との両立なので、できる時間

にやっています。

テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」の制作現場はこんな感じだよ!!

テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」を制作している日本アニメーションさんを見学させていただきました。



①シナリオをもとに、たくさんの方が分担して絵を描きます。パラパラ漫画のように動きをつけるので、何度も紙をめくって動きを確認していました。



②複数の人が描いた絵をそろえるために、1人の人が全ての絵をチェックして修正を加えます。枚数がとても多いので、大変そうな作業でした。



③出来上がった絵を一枚一枚スキャンして、データにしていきます。紙がズレると絵もズレて動きがスムーズにならないので慎重な作業です。



④データになった絵にパソコンで色付けしていきます。まるちゃんの肌の色だけでも季節や時間帯で違うそうです。色で印象も変わりますからね。



⑤色が付いた絵をパソコンで組み合わせる動画にしていきます。秒単位で決められた時間内に納まるように微調整をしていく細かい作業です。

ここで紹介したのは、制作作業の一部です。アニメをつくるには、本当にたくさんの時間と手間と人手が掛かっていました。日本アニメーションさん、本当にありがとうございました。

※写真は『日本アニメーション スタジオで撮影』

「ちびまる子ちゃん」は、日常的な話が主流です。また、昭和40年代後半の静岡県を舞台にした話です。磐田での生活は

楽しいんだと思います。でも、やっぱり脚本を書くのが好きなんですよね。だから

池野さんのように活躍したいと思う磐田の若者に一言

そんなことでも、どんなときにも、必ずお日様が見ています。だから、真面目に生きることが

磐田の生活が「ちびまる子ちゃん」の脚本に生きていますか?

お仕事を楽しまれていきますね

池野さんのように活躍したいと思う磐田の若者に一言

最後に磐田市民に一言

「ちびまる子ちゃん」の脚本のお話をいただいたアニメ制作会社の日本アニメーションさんが、家庭優先に考えて打ち合わせなどの配慮をしてくれたのが本当に助かりました。それと、やはり家族の理解と協力もあつたからやってこれましたね。

仕事ですので、当然、楽しいことばかりではありません。仕事で何度も泣きたいような思いをしましたし、全く仕事がない時期もありました。脚本家を諦めようと思った時期もありました。でも、やっぱり脚本を書くのが好きなんですよね。だから

縁があったとはいえ、磐田での仕事を辞め、上京した20代前半の行動も、今思えば無茶だと感じますが、当時の自分には自然の流れだったんです。

それと、これから新しいことに挑戦してみたいと思っています。具体的にはまだ決まっていませんが、磐田市で何かできればいいなと思っています。その時には、また新たな一面を見ていただけるとうれしいです。

家庭と仕事の両立は大変ではないですか?

非常に生きていますよ。脚本家の入れ替わりもある中で、これだけ長く仕事をやらせていただけるのは、静岡出身だからでしょうか、作品と私が合っていたんだと思います。

これまで生きてきた中で、心掛けたことはありますか?

無理をするのではなくて、自分の思う流れに逆らわず乗ってきたということですかね。楽な流れという意味ではなくてね。

池野みのりさん

昭和38年生まれ。二之宮出身。

日本脚本家連盟会員。

2児の母としての家事業をこなしながら、テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」の脚本家の一人として活躍中。

池野みのりさん脚本による近日中の「ちびまる子ちゃん」放送予定

6月2日(日)

6月30日(日)



【日本アニメーション スタジオで撮影】